

「暑さ寒さも彼岸まで」といわれますが、今年はまだ厳しい暑さが続いています。秋といえば、何をするにも活動しやすい時期です。一日も早く過ごしやすい気候になってほしいものです。

さて、今回の「コミスク通信」では、7、8、9月の活動についてお伝えします。



竹灯籠作り～ 宮原地域交流協議会の方々と～

5・6年生の子ども達が、宮原地域交流協議会の「あそびーと」の方々に教えてもらいながら竹灯籠を作りました。6年生は昨年も経験しているだけあって、スムーズに作業を進め、5年生に優しく手助けしていました。「あそびーと」の方々、5・6年生の子ども達、とても楽しい共同作業の場

となりました。

今年の竹灯籠のテーマは「未来へ」でした。子ども達はそれぞれ、未来への様々な思いをこめて作りました。そして、竹灯籠の灯りは、くまの古道ふれあい広場ライトアップイベントでともされました。



竹灯籠ライトアップ～ 想繫火～

7月16日(日)、「地域の人々の思いと、人と人とのつながりを大切にしたい」と考え、竹灯籠のライトアップイベントを行いました。「宮原地域交流協議会」と「元気ふるさとづくりサポーター」とのコラボ企画です。

熊野古道ふれあい広場は、5・6年生と地域の方々が作った竹灯籠のやさしい灯りに包まれ、訪れた人たちの心を和ませていました。

この灯りは、7. 18水害慰霊祭へ・・・



《地域の人の声》

雰囲気、なんかいいですねえ

7. 18水害慰霊祭

7月18日(火)、7. 18水害慰霊祭の祭壇に竹灯籠が灯され、おごそかに慰霊祭が行われました。宮原小学校の子ども達だけでなく、地域の方々や各団体の方々も参加してくださりました。

灯籠のあかりは、私たちに防災の大切さや命の尊さを伝えてくれたような気がしました。



ふれ愛 宮原BON!!

8月13日(日)、「宮原コミュニティの会」主催による「宮原盆BON!!踊り」が行われました。宮原小学校の運動場にやぐらが組み立てられ、祭りを支える地域の方々や屋台も祭りを盛り上げてくれました。

昨年まではコロナ禍で開催できませんでしたが、行動制限がとれた今年は、賑やかな祭りを開催することができました。人々が集まるとそこには笑顔と笑い声、活気が

あふれます。街の元気の源ですね。

踊りは「紀州ぶんだら節」。夏休み前には地域の方が宮原小学校に来校し、子ども達に踊りを教えてくださりました。地域の方々とふれあいから様々な活動がふくらんでいきますね。

「宮原盆BON!!踊り」の開催にあたりご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。



踊りの練習



教えに来てくださった地域の方々



祭り当日



第2回学校運営協議会

7月11日(火)、第2回学校運営協議会が行われました。今回は、学校評価、地域との連携、学校の様子、文成中学校への移転についての説明を受け、話し合いました。

